

さくら初任者研修シラバス

科目名	1. 職務の理解		
担当講師	駒瀬 貴臣	時間数	6時間
到達目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべきその人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような形で、どのような仕事を行うのか具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。		
項目	内容	時間数	備考
①多様なサービスの理解	<ul style="list-style-type: none"> 多様なサービスと介護職の仕事の理解と保険外のサービスについての講義 介護保険の居宅・施設それぞれのサービスと介護職の仕事の講義 	3	講義 2 演習 1
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスを提供するサービス事業所毎の特性についての講義 介護サービス提供に至るまでの流れの講義 介護過程とチームアプローチについて講義と演習 	3	講義 2 演習 1
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	2. 介護における尊厳の保持・自立支援		
担当講師	駒瀬 貴臣	時間数	9時間
到達目標	介護職が、利用者の暮らしを支える専門職であることを自覚し、その尊厳について理解し、自立支援・介護予防等の福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及び、ふさわしくない言動の例を理解する。		
項目	内容	時間数	備考
①人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の基本的人権と尊厳の理解について ・ ICFについて ・ ノーマライゼーションについて ・ 虐待防止・身体拘束禁止について ・ 人権を守る為の法律と諸制度 	3	講義3
②自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険における自立支援の考え方について ・ 個別ケアについて ・ 介護予防と介護保険 ・ 生活における介護予防の視点について 	5	講義4 演習1
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	3. 介護の基本		
担当講師	富田 俊介	時間数	6時間
到達目標	<p>介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。</p> <p>また、介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができる。</p>		
項目	内容	時間数	備考
①介護職の役割・専門性と多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> 在宅での訪問介護サービスと施設での介護サービスの特徴と現状・違いについて 地域包括支援システムについての基本的理解 介護の専門性と専門職に求められるものについて 他職種連携の意味と意義について 介護にかかわる職種の理解 	1.5	講義1.5
②介護職業倫理	<ul style="list-style-type: none"> 介護職が持つべき職業倫理 職業倫理の意義 介護職としての社会的責任について 	1	講義 1
③介護職における安全の確保とリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 介護におけるリスクマネジメントとは 事故予防、安全対策について 感染症対策、予防の重要性とその方法について 	2.5	講義1.5 演習 1
④介護職の安全	<ul style="list-style-type: none"> 介護職の心身の健康管理 介護職の健康と介護の質の関連について 	1	講義 1
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	4. 介護・福祉サービスの理解と連携		
担当講師	後藤献児朗・中村小夜子・山川美幸子・増田裕子・古島孝昭・吉村節子	時間数	9時間
到達目標	介護保険や障害者自立支援制度を担う一員として、最低限度知っておくべき制度の目的、サービスの流れや各専門職の役割・責務について、一定の知識と理解ができる。		
項目	内容	時間数	備考
①介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景と目的・動向について ・介護保険制度の仕組みと基礎的理解 ・介護保険制度の財源・団体の機能と役割 ・医療・年金制度についての基礎的理解 	3.5	講義3.5
②医療との連携とリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職と医療行為の実情と経過について ・経管栄養・吸引・浣腸・健康チェック ・在宅及び施設における介護職と看護職の役割・連携についての理解 ・訪問看護の意義と役割について ・リハビリテーションの理念について 	3.5	講義3.5
③障害者総合支援制度およびその他の制度	<ul style="list-style-type: none"> ・制度創設の理念・背景と目的について ・国際障害分類と国際生活機能分類の理解 ・障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ・障害福祉サービスの種類と利用の流れ ・障害者の権利を守る諸制度の概要について 	2	講義2
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	5. 介護におけるコミュニケーション技術		
担当講師	内藤 三枝子	時間数	6時間
到達目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力の個々の違いを理解して、コミュニケーションを図ることが専門職に求められることを認識し、初任者として最低限必要な行動を理解できる。		
項目	内容	時間数	備考
①介護における コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意義・目的・役割 ・コミュニケーションの技法 ・言語チャンネルと非言語チャンネルについて ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・状況・実態に応じたコミュニケーション技術の実際について 	3	講義 2 演習 1
②介護におけるチームの コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点等について学ぶ ・記録による情報の共有化 ・報告、連絡、相談の意義と目的、その具体的方法と留意点 ・会議の意義、種類とその運用 	3	講義 2 演習 1
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	6. 老化の理解		
担当講師	細江 直美	時間数	6時間
到達目標	老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。また、老化と共に、社会的環境が心理や行動に与える影響や身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。		
項目	内容	時間数	備考
①老化に伴う心と身体の変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・ 老化による心理や行動を理解するための視点 ・ 社会的な環境の変化とその心理について ・ 身体機能の変化について ・ 感覚機能の変化について ・ 咀嚼機能・消化機能等身体の各部位の変化について ・ 精神機能の変化について 	3	講義 3
②高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の疾患と日常生活上の留意点 ・ 高齢者に多い疾病の特徴と原因の理解 ・ 介護保険の特定疾病 	3	講義 3
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	7. 認知症の理解		
担当講師	吉村 美由紀・内藤 三枝子	時間数	6時間
到達目標	介護において認知症を理解することの必要性を認識し、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。		
項目	内容	時間数	備考
①認知症を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアの理念 ・ 介護職の視点の変化等認知症ケアの現状について 	1.5	講義1.5
②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症ケアの理念 ・ 介護職の視点の変化等認知症ケアの現状について 認知症の概念 ・ 認知症の原因疾患とその病態 ・ 原因疾患別ケアのポイント ・ 認知症の予防と治療、健康管理について 	1.5	講義1.5
③認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ・ 中核症状、行動・心理症状について ・ 生活環境が及ぼす認知症への影響 ・ 認知症の人への対応と関わり方の基本について 	1.5	講義1 演習0.5
④家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ レスパイトケアの必要性和重要性 ・ 家族へのエンパワメント ・ 家族の持つ力の活かし方 	1.5	講義1 演習0.5
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	8. 障害の理解		
担当講師	吉村 美由紀	時間数	3時間
到達目標	障害の概念と I C F、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。		
項目	内容	時間数	備考
①障害の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害の概念と I C F ・ 国際障害者分類と国際生活分類について ・ 障害者福祉の基本的理念 	3	講義2.5 演習0.5
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害の種類とその主な症状について ・ 知的障害の心理的概念とその原因 ・ 精神障害についての定義と特徴、介護の留意点 		
③家族の心理、かかり支援の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の障害受容を支援するための視点 ・ 介護負担の軽減について、家族を取り巻く社会環境をハード面ソフト面から考える 		
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	9. こころとからだのしくみと生活支援技術 Ⅰ. 介護に関する基礎的理解		
担当講師	吉村 美由紀	時間数	10.5時間
到達目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、理論と法的根拠に基づく基礎的な介護技術が実践できる。 尊厳を保持し、その人らしい暮らしをその人の在宅・地域等で継続できるように支援できる介護技術や知識を習得する。		
項目	内容	時間数	備考
①介護の基本的考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護について ・介護の見方、考え方の変化 ・介護の法的根拠について ・介護を担う資格について 	2.5	講義2.5
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶に関する基礎知識について ・感情と意欲に関する基礎知識について ・自己概念と生きがいについて ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因について 	3.5	講義3.5
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の各部の名称と働きに関する基礎知識について ・骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用について ・中枢神経と体性神経に関する基礎知識について ・自律神経と内部器官に関する基礎知識について 	4	講義3.5 演習0.5
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	9. ころとからだのしくみと生活支援技術		
	II. 自立に向けた介護の展開	時間数	54.5時間
到達目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、理論と法的根拠に基づく基礎的な介護技術が実践できる。 尊厳を維持し、その人らしい暮らしをその人の在宅・地域等で継続できる様に支援できる介護技術や知識を習得する。		
項目	内容	時間数	担当講師
④生活と家事	<ul style="list-style-type: none"> 生活と家事の理解 介護職の行う家事援助の専門性について 家事援助のポイント 家事援助に関する基礎的知識と生活支援について 調理、洗濯、掃除、買い物、家計管理等具体的な支援の考え方と内容について 	4.5	遠藤恵子 永井渉
⑤快適な居住環境整備と介護	<ul style="list-style-type: none"> 快適な居住環境整備と介護 安心して快適に生活するために必要な環境の整備について学ぶ 高齢者、障害者特有の住環境整備と福祉用具の活用について、福祉用具の使い方の演習 生活空間と介護、住宅改修について 福祉用具の活用についての視点を学ぶ 住宅改修、福祉用具活用と介護保険の関連について 	6	楠多美子
⑥整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> 整容の必要性とそれに関連するころとからだのしくみについて 整容の支援技術について 洗面、整髪、髭、爪の手入れ、化粧、衣服の着脱の知識の学習と、技術の取得の為の演習 	5	中山央乃 服部幸子
⑦移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> 移動、移乗の基礎知識と福祉用具の活用法について 利用者、介護職にとっての負担の少ない移動、移乗の支援について 移動、移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 社会参加の留意点について 実際に福祉用具を利用して、介護技術を取得することを目的とした演習 	9	児島智大 的場絵里

<p>⑧食事に関連した ところとからだのしくみと 自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食事にに関する基礎知識 ・食事に関連した、ところとからだのしくみについて ・食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法 ・誤嚥、窒息の防止、脱水の予防について ・食事の介助の演習 ・口腔ケアの目的と効果について ・楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 ・心身の機能低下が食事に及ぼす影響について ・食事と社会参加の留意点と支援について 	<p>5</p>	<p>野村順子 川島綾 垣本未来</p>
<p>⑨入浴・清潔保持に関連した ところとからだのしくみと 自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に関連する基礎知識 ・入浴の必要性と意義 ・入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみ ・入浴、清潔保持に関する用具の活用 ・入浴介助技術の習得にむけての演習 ・手浴、足浴、洗髪、清拭の演習 ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法 ・心身機能の低下が入浴、清潔に及ぼす影響について 	<p>8</p>	<p>竹内久美子 山口かよ子</p>
<p>⑩排泄に関連した ところとからだのしくみと 自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・排泄に関連したところとからだのしくみ ・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法の基礎知識と実用の為の演習 ・一部介助、全介助、おむつ交換を含めた排泄の介助技術の習得に向けての演習 ・便秘、下痢の基礎知識と対応について ・排泄を阻害する要因の理解と支援方法について 	<p>8</p>	<p>富田啓介 松原睦子</p>
<p>⑪睡眠に関連した ところとからだのしくみと 自立に向けた介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法 ・ベッドメイキング、シーツ交換等、環境整備の技術の演習 ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法 ・睡眠不足が及ぼす影響や加齢や疾病が睡眠に及ぼす影響についての知識 	<p>5</p>	<p>仲根俊哉 小谷優互</p>
<p>⑫死にゆく人に関連した ところとからだのしくみと 終末期介護</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識 ・終末期の変化の特徴について ・生から死への過程 ・死に向き合うところの理解 ・死に対するところの変化 ・苦痛の少ない死の支援 	<p>4</p>	<p>細江直美</p>

使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規） 電動ベッド、車いす、清拭用具一式、ポータブルトイレ、便器、尿器、 おむつ各種、増粘剤、食器類、等介護用品一式
備考	すべての講義において、実技実習あり 1グループ 5人以下 各項目ごとに現場経験豊富な講師2人体制で指導

さくら初任者研修シラバス

科目名	9. こころとからだのしくみと生活支援技術 Ⅲ. 生活支援技術演習		
担当講師	富田 俊介	時間数	10時間
到達目標	<p>介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、理論と法的根拠に基づく基礎的な介護技術が実践できる。</p> <p>尊厳を維持し、その人らしい暮らしをその人の在宅・地域等で継続できる様に支援できる介護技術や知識を習得する。</p>		
項目	内容	時間数	備考
①介護過程の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護過程の目的、意義、展開 ・ 根拠に基づいた介護を展開するために必要なこと ・ アセスメントから始まる介護過程の流れの理解 ・ チームアプローチ 	2	講義2
②総合生活支援技術演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例を通じて、利用者の課題を理解し、心身の状況に応じた介護を提供する視点を学ぶ 	8	講義2 演習6
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			

さくら初任者研修シラバス

科目名	10. 振り返り		
担当講師	駒瀬 貴臣	時間数	4時間
到達目標	研修全体を振り返り、学んだことについて再確認を行い、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。		
項目	内容	時間数	備考
①振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者のあるべき姿の確認 ・今後継続して学ぶべきこと ・介護職に求められるもの ・現場の介護職員の実務についての体験談を話してもらい、ディスカッションをする 	3	講義2 演習1
②就業への備えと 研修修了後における事例	<ul style="list-style-type: none"> ・今後継続に学ぶことについて ・研修終了後における継続的な研修について 	1	講義1
使用するテキスト 機器・備品等	介護職員初任者研修テキスト（中央法規）		
備考			